

や やるぞ～ ま まけないぞ～ が がんばろうぜ～ た 楽しい学校になるように

## 地域の応援団・共生社会の担い手たれ！

本日(3月2日)の新潟日報で、当校の「高齢者宅ごみ出しボランティア」の取組に関する内容が掲載されました。在校生はもちろん、卒業した3年生にも、学校で目指している「認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う」という温かい集団づくりに向けた支持的風土の醸成を地域でも図れるように、また共生社会の実現をめざす担い手として、これからも地域とつながる社会貢献を積極的に継続してほしいものと願っています。



### 高齢者のごみ出し サポーター頼もしく

#### 山潟中3年生に感謝状

地域の高齢者宅のごみを出すボランティアに参加した新潟市中央区の山潟中学校の3年生に、山潟地区コミュニティ協議会が感謝状を贈った。受け取った生徒は「卒業しても続けたい」などと地域に関わる気持ちを新たにしていた。

山潟コミ協と山潟中は2014年度から連携し、地域に住む高齢者のごみ出し支援に取り組んでいる。支援を求める高齢者とボランティアは登録制。生徒は朝の通学途中に担当する高齢者宅のごみを出すボランティアに参加した山潟中の3年生。山潟市中央区

者宅に立ち寄り、ごみを捨て場に持っていく。21年度登録した生徒約20人のうち、3年生は12人だった。山潟コミ協は毎年卒業式の前に、担当者が学校に向いて3年生に感謝状を贈っている。感染禍の今年はい塚敦校長が2月22日に代理で渡した。齋藤優芽さん(15)は「1日の始まりを気持ちよく迎えられる。助け合いの気持ちをいつまでも持っていたい」と話した。山潟コミ協の高橋ひろみさん(67)は「利用者からは頼もしいとの声がある。地域の助け合いの心を学んでくれてうれしい」と感謝した。